

## 事後評価書

事業名		広域農道整備事業 北勢南部地区		事業区分	農業農村整備事業	課名	農業基盤整備課
事業概要	工期 (下段前回)	昭和55年度～平成18年度	全体事業費 (下段前回)	7,448百万円 (負担率:国:県:他)			
		昭和55年度～平成18年度		7,462百万円 (負担率:国:県:他)			
事業目的及び内容		<p>「事業の目的」                      本地域の農産物の生産から流通に至るまでの過程を、一体的に連携するため広域農道を整備しました。当地域で生産された農畜産物を効率的に市場に輸送できるよう、基幹となる道路（通称「フラワーロード」）18km（内農道区間12.6km）を整備することで、流通・輸送面での生産コストを低減し、地域農業の安定と活性化を図ることを目的としています。</p> <p>「事業内容」                      農道区間12.6kmの内訳は、四日市市が1.2km、鈴鹿市が4.5km、亀山市が6.9kmとなっています。その区間のうち、橋梁が6箇所あり合計延長はL=394mです。道路幅員は8.5m（舗装幅員6.5m）で整備をしています。</p> <p>また亀山市内において、亀山市道として亀山市が整備する1.6kmと、三重県鈴鹿建設事務所が県道として整備する3.8kmの区間があります。すでに市道なり、県道がある区間については、重複路線を避けるため既設道路を改修し、一連の道路網とする計画です。</p>					
1・事業の効果		<p>・本地域は、花木類、お茶、採卵鶏など全国有数の生産地です。市町村別のお茶の生産量（全国順位）で、四日市市が9位、鈴鹿市が10位、亀山市が25位の生産量を誇っています。採卵鶏では、鈴鹿市が全国順位で8位です。また、さつき・つつじ等の花木の生産も、全国トップクラスです。これらの農畜産物を効率的に市場へ輸送し、流通・輸送面での生産コストを低減を図るなど、地域農業の安定と活性化を図るため、フラワーロードを整備しました。フラワーロードを整備したことにより、農業近代化施設（ライスセンター、カントリーエレベーター等）への搬入も容易となり、消費地や卸売市場への流通の面でも効率化が図られます。</p> <p>「費用便益分析」</p> <p>・平成17年度 再評価時の経済効果                      便益（現在価値合計）／費用（現在価値合計） = 237,493 / 147,042 = 1.62</p> <p>・平成24年度 事後評価時の経済効果                      便益（現在価値合計）／費用（現在価値合計） = 350,483 / 146,895 = 2.39</p> <p>転作の強化による米の作付面積の減少、農産物の価格低迷による作付面積の減少により、生産に投入する資材輸送および、生産物の輸送台数の減少により、労働時間短縮、生産経費節減、荷痛防止効果の3つの効果が減少しています。また一般交通量の増加により、アクセス時間節減・アクセス経費節減効果が増加しています。</p> <p>営農走行経費節減効果と、一般交通節減効果の2点の変動要因により費用便益比（B／C）は、平成17年再評価時点の1.62から2.39に増加しました。</p>					
2・事業の環境面への配慮及び事業による環境の変化		<p>・日本道路公団に委託し整備を行った、東名阪自動車道との立体交差部の工事に施行に先立ち、日本道路公団と共同でオオタカの営巣調査を実施するなど、自然環境への配慮を行いました。</p>					
3・事業を巡る社会経済情勢等の変化		<p>・昭和55年度の事業採択時には、名阪亀山・関工業団地（昭和61年）ならびに亀山・関テクノヒルズ（平成14年）の造成計画がなかったため、これらの工業団地は計画に反映されていません。周辺環境の変化として、亀山地域に県のクリスタルバレー構想の核となるシャープ亀山工場が平成16年1月に稼働を始め、関連企業の輸送量が増大しています。</p> <p>・農産物の生産については、転作の強化により米の生産量が減少するとともに、麦・大豆の転作作物の生産が増えています。また花木・お茶の生産についても、価格の低迷等により生産量が減少傾向にあります。</p>					

4・県民の意見	
<p>県民の意見徴収方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成24年7～8月に、関係する四日市市、鈴鹿市、亀山市のフラワーロード沿線の自治会の協力を得て、アンケート調査を実施しました。3市あわせて684戸にアンケートを依頼しました。設問項目は全部で8問で、内容は以下のとおりです。農家には、問⑥で農業面での効果を聞いています。</li> <li>①お住まいはどこですか ②広域道路（フラワーロード）を使っていますか その頻度・目的は？ ③フラワーロードが出来たことによる効果 ④フラワーロードが出来たことによる悪影響 ⑤あなたの家は農家ですか ⑥フラワーロードの農業面での効果 農地の維持管理・農産物の集出荷・農作業機械の大型化・耕作の継続 ⑦フラワーロードの維持管理状況 ⑧今後の農道事業で改善すべき事（自由記載）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>3市あわせて、318戸からアンケート結果を回収しました。（回収率46.5%）</li> <li>アンケート結果は、以下のとおりです。</li> <li>①の回答・・・四日市市48戸、鈴鹿市124戸、亀山市143戸、その他3戸となりました。</li> <li>②の回答・・・フラワーロードの使用頻度は、毎日から週に一度を合わせると65%となっています。利用目的は、買い物、レジャー娯楽、通勤の順になっています。（複数回答）</li> <li>③の回答・・・出来た効果として、走行時間の短縮、既存道路との接続改善、日々の生活が快適になった、高速との接続がよくなった、地域経済の向上に役立っている、防災上の安全性が高まった・・・等の順になりました。事業効果として、農業効果以外にも効果が認識されています。</li> <li>④の回答・・・出来たことによる悪影響として、ゴミの投げ捨て、交通事故が増えた、沿線の住環境が悪化した、悪影響はない、交通渋滞することが多くなった、道路が広くなり横断が難しくなった・・・の順になりました。一般交通量の増加による、ゴミの投げ捨て等の問題が生じています。</li> <li>⑤の回答・・・農家件数は、98戸で、農家率は31%でした。</li> <li>⑥の回答・・・農家の方から得た回答として、農産物の集出荷が楽になった、農作業機械の大型化が出来た、営農意欲が高まった等の回答をいただいております。事業実施の効果が認識されています。</li> <li>⑦の回答・・・維持管理の回答として、ガードレール等の安全施設の改善、舗装の打ち替えの要望があったものの、42%の方から「適切に管理されている」との回答を頂きました。現在フラワーロードの維持管理は、各市で担っていただいております。年2回の道路除草などを実施しています。</li> <li>⑧の回答・・・農道事業で改善すべき事（自由記載）として、要望が多くあった順に、歩道の設置33件、道路勾配を緩やかにしてほしい11件、路肩の除草10件となりました。 四日市市で多かった要望として、ガードレールを設置してほしい8件、鈴鹿市で多かった要望として右折レーンの設置6件、亀山市は標識を設置してほしいとの意見が4件ありました。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートまとめ</li> <li>広域農道の効果・・・農業面での効果も見られるが、それ以外の効果も確認されました。</li> <li>広域農道の維持管理・・・一般交通の増加によるゴミの不法投棄や、路肩の道路除草、舗装の打ち替えに対する要望がありました。</li> <li>今後の農道事業への課題・・・歩道や安全施設の設置要望が多くありました。</li> <li>農業振興の状況・・・農業機械の大型化や農産物の集出荷に役立っています。</li> </ul>	
5・再評価の経緯	
<p>答申</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成17年度、再評価審査を受けた結果、事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承された。</li> </ul> <p>対応方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活道としての利用が増えているため、計画交通量の算定には、地域の道路網の利用形態を考慮して、客観的な分析を行うことが必要となります。必要な箇所の交通量調査を実施し、計画交通量の検証を行います。</li> </ul>	
6・今後の課題等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>都市近郊の広域農道については、将来の営農形態や、交通量調査等を十分に勘案して計画を行う。</li> <li>地域全体で担い手への農地集積を推進する。</li> </ul>	

# フラワーロード位置図(四日市市・鈴鹿市・亀山市)

施工期間 昭和55年度～平成18年度(26年)

